

国際シンポジウム

福岡市の低炭素都市形成への提言と アジア都市の事例

財団法人福岡アジア都市研究所では、平成22～23年度に「福岡市の低炭素都市形成」をテーマに総合研究を実施してきました。研究期間中に東日本大震災によって発生した福島原発事故は、日本のエネルギー政策の根幹を揺るがす出来事となりました。原発事故後の自治体のエネルギー政策のあり方の検討もふまえ、福岡市が戦略的に推進すべき低炭素政策を提言します。

提言では、福岡市の住みよさの向上と広域交流活性化を主な目的に、都市構造（集約化拠点の早期形成）、公共交通（複数交通手段の最適化）、エネルギー消費（再生可能エネルギーの消費拡大）、フードマイレージ（地産地消の積極推進）の4点への注力を提案しますが、これらに関して、アジアの都市から専門家を招いて、各都市の事例紹介をあわせて行います。

シンガポールの事例として、2010（平成22）年のベネチアビエンナーレ国際建築展で展示された「1000 シンガポールズ：コンパクトシティのモデル」を中心に、限られた土地でのコンパクトな都市計画を紹介します。韓国の事例として、2004（平成16）年にソウル市で実施されたバス、地下鉄、国鉄の都市圏共通運賃化や公共交通の管理システム、その後の交通状況について紹介します。東京都の事例として、再生可能エネルギーの利用拡大を目指した2006（平成18）年の東京都再生可能エネルギー戦略と、その後の実行状況等について紹介します。

地方議会議員、自治体職員、不動産開発事業者、交通事業者、エネルギー事業者はじめ、幅広い市民の皆様のご参加をお待ちしております。

日時 平成24年3月22日（木） 13:30～16:30（開場 13:00）

会場 アクロス福岡 4階 国際会議場（福岡市中央区天神 1-1-1）<http://www.acros.or.jp/access/>

プログラム ※日英同時通訳を行います

13:30 開会挨拶・趣旨説明

13:40～14:10 報告「福岡市の低炭素都市形成に向けて」

財団法人福岡アジア都市研究所 研究主査 天野 宏欣

14:10～14:50 事例紹介「1,000 Singapore's: A Model of a Compact City」（仮題）

シンガポール国立大学 建築学部 准教授 Erik Gerard L'Heureux 氏

准教授 Florian Benjamin Schaez 氏

14:50～15:20 事例紹介「ソウル市の公共交通改革と交通計画」（仮題）

暎園大学校 都市計画造景学府 教授 キム ヒョン チョル 氏

15:20～15:30 休憩

15:30～16:00 事例紹介「東京都再生可能エネルギー戦略」（仮題）

認定NPO 法人環境エネルギー政策研究所（ISEP） 主任研究員 山下 紀明 氏

16:00～16:30 Q&A セッション モデレーター：PwC シニアアソシエイト 石丸 修平

16:30 閉会

主催 財団法人福岡アジア都市研究所、福岡市 **後援** 社団法人九州経済連合会（予定）

申込み 平成24年3月14日(水)まで 定員 150名 (申込み先着順) ※参加無料

「3/22 低炭素シンポジウム聴講希望」と明記のうえ、参加希望者の《氏名・ふりがな》《住所》《勤務先（※住所が勤務先の場合は所属部署名も）》《電話番号》《メールアドレス》を書いて、Eメール又はFAXで福岡アジア都市研究所まで申込み下さい。

なお、研究所ホームページ (<http://www.urc.or.jp>) から申込み可能です。

申込み・問合せ先 財団法人福岡アジア都市研究所 (担当：白浜・天野・栗原)

〒810-0001 福岡市中央区天神 1-10-1 福岡市役所北別館 6階
TEL:(092)733-5686,FAX:(092)733-5680,E-mail:event2@urc.or.jp

参加申込み票 (FAX用)

財団法人福岡アジア都市研究所 (FAX:092-733-5680) 宛

(財)福岡アジア都市研究所 平成23年度第10回都市セミナー
シンポジウム「福岡市の低炭素都市形成への提言とアジア先進都市の事例」

ふりがな	
氏名	
住所	〒 ー
勤務先 (所属部署)	
電話番号	
E-mail	

申込み締切日：平成24年3月14日(水) ※当研究所必着

※申込み後、整理券の送付はいたしません。当日は直接会場へお越しください。

※記載いただいた個人情報は、本セミナーの運営、ならびに当研究所からのご案内以外には利用いたしません。